

# 【平成28年熊本地震】

## TEC-FORCE(緊急災害派遣隊:神通砂防班) 活動報告①

平成28年熊本地震に対して、TEC-FORCE現地活動班(砂防班)として4月22日(金)~4月27日(水)の6日間にわたって活動してきたので、その概要について報告します。

現地活動班(砂防班)の任務は、「平成28年熊本地震」後のさらなる土砂災害の防止のため、土砂災害危険箇所の緊急点検を実施し危険度判定を行うものでした。

北陸地方整備局からは6班(22名)が現地活動班(砂防班)として出動し、熊本県の阿蘇市、南阿蘇村、熊本市、宇城市の土砂災害危険箇所の調査を実施し、神通砂防班は主に宇城市、熊本市西区(急傾斜地13箇所、土石流危険渓流8箇所)について調査しました。

なお、TEC-FORCE実施の土砂災害危険箇所点検結果は4月28日(木)に熊本県知事及び市町村に報告されました。

### <参考>

#### TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

・TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方自治体からの要請に基づき迅速に出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものです。



土石流渓流調査(宇城市内)



急傾斜地調査(宇城市内)



被害状況を住民より聞き取り



土石流渓流調査(旧豊野町内)



調査結果とりまとめ

# 【平成28年熊本地震】

## TEC-FORCE(緊急災害派遣隊:神通砂防班) 活動報告②

平成28年4月22日(金)より九州地方整備局管内へ派遣していたTEC-FORCE現地活動班(砂防班)1班5名が活動を終え、4月27日(水)16時15分に神通川水系砂防事務所へ全員無事に帰還しました。

帰還後、効率的な調査方法や危険度を判定するポイント等の現地において学んだこと、反省点などが報告されました。

神通川水系砂防事務所ではこれら隊員が持ち帰った経験を事務所内で共有し、危機管理能力の向上に努めてまいります。



事務所へ帰還した様子



所内活動報告会の様子